

METHOD OF RECOVERING INORGANIC MATTER PARTS MATERIAL FROM ELECTRONIC PARTS USING SUPERCRITICAL WATER

Publication number: JP2002233847 (A)

Publication date: 2002-08-20

Inventor(s): KUDO MITSUHIKO; KIKUCHI MORIKAZU; SHIMIZU SEI; INOMATA HIROSHI +

Applicant(s): ASAKA RIKEN KOGYO KK +

Classification:

- International: B09B3/00; B09B5/00; B09B3/00; B09B5/00; (IPC1-7): B09B3/00; B09B5/00

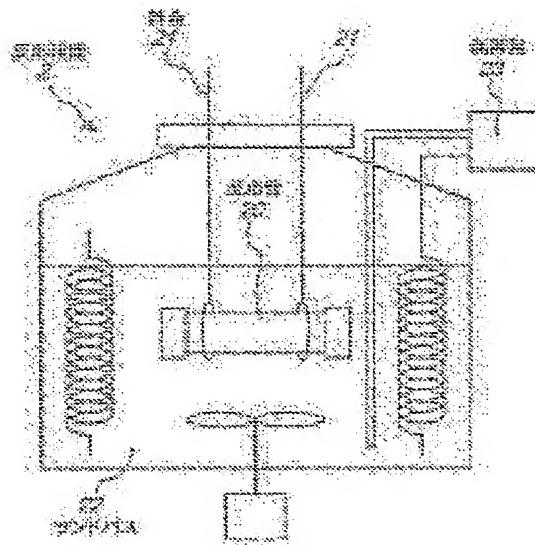
- European:

Application number: JP20010030114 20010206

Priority number(s): JP20010030114 20010206

Abstract of JP 2002233847 (A)

PROBLEM TO BE SOLVED: To remove resin components of electronic parts composed of inorganic matter and the resin components by combining the oxidation decomposition by supercritical water and a swelling agent and to recover the inorganic matter in the state of an original form without entailing the change of the composition and the degradation in strength and function. **SOLUTION:** The electronic parts and the ultrapure water are put into a reaction tube 20 of a reaction apparatus 2 and both ends of the reaction tube are suspended by wires 21 and the reaction tube is immersed into a sand bath 22. The temperature and pressure in the reaction apparatus are controlled by a control panel 23 and the swelling by the addition of the swelling agent and the oxidation decomposition by the supercritical water are effected, by which the resin components are removed. The inorganic matter is recovered in a non-oxidizing state. The oxidation decomposition of the resin components by the supercritical water is preferably effected by setting the specific dielectric constant ϵ_w of the supercritical water at $4 \leq \epsilon_w \leq 7$ and ion product K_w at $14 \leq \log K_w \leq 17$ and can be effected by adding an oxidizing agent thereto.



Data supplied from the espacenet database — Worldwide

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-233847

(P2002-233847A)

(43)公開日 平成14年8月20日 (2002.8.20)

(61)IntCL:
B 09 B 3/00
5/00

識別記号

F I
B 09 B 3/00
5/00

マーコード(参考)
3 0 4 H 4 D 0 0 4
C

審査請求 未請求 請求項の数4 OL (全6頁)

(21)出願番号 特願2001-30114(P2001-30114)

(22)出願日 平成13年2月6日 (2001.2.6)

(71)出願人 391023415
アサカ理研工業株式会社
福島県郡山市田村町金屋字マセ口47番地
(72)発明者 工藤 光彦
福島県須賀川市向陽町934
(72)発明者 菊池司和
福島県東白川郡棚倉町大字下山本小浜沢1
-1
(72)発明者 清水 伸澄マ
福島県郡山市富久山町飯原字境田20-10
(74)代理人 100095717
弁理士 水野 博文

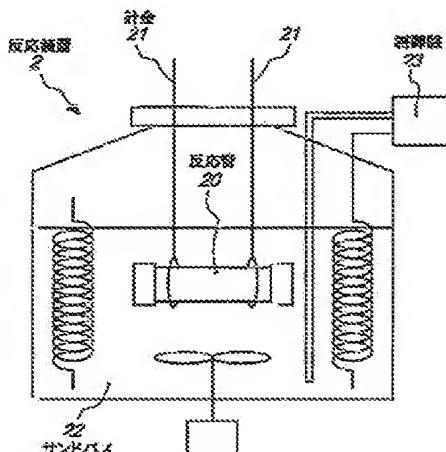
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 超臨界水を用いた電子部品からの無機物部品材料の回収方法

(57)【要約】

【課題】無機物および樹脂成分から構成した電子部品において、超臨界水による酸化分解、および膨潤剤を組み合わせることで樹脂成分を除去するとともに、無機物については、組成の変化、強度や機能の低下等を伴わずに原形のまま回収して再使用する。

【解決手段】反応装置2内の反応管20に、電子部品と超純水を入れ、反応管の両端を針金21で懸垂してサンドバス22に浸漬する。反応装置内の温度と圧力を制御盤23により制御して、膨潤剤の添加による膨潤および超臨界水による酸化分解を行うことで樹脂成分を除去し、かつ、無機物については非酸化状態で回収する。超臨界水による樹脂成分の酸化分解においては、超臨界水の比誘電率 ϵ_w を4至 ϵ_w 7、イオン積 K_w を1.4至 $-L_0 \approx K_w \approx 1.7$ として行なうことが好ましく、酸化剤を添加して行ってよい。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 所定形の部品材料が組み込まれて一定の機能を発揮する電子部品において、超臨界水により樹脂成分を酸化分解して除去するとともに、無機物については非酸化状態で回収することを特徴とする超臨界水を用いた電子部品からの無機物部品材料の回収方法。

【請求項2】 所定形の部品材料が組み込まれて一定の機能を発揮する電子部品において、膨潤剤の添加による膨潤および超臨界水による酸化分解を行うことで樹脂成分を除去し、かつ、無機物については非酸化状態で回収することを特徴とする超臨界水を用いた電子部品からの無機物部品材料の回収方法。

【請求項3】 樹脂成分の酸化分解を、

超臨界水の比誘電率 ϵ_w を4.5~ ϵ_w 7.0、イオン積 K_w を1.4~ $L_0 g K_w$ 1.7として行うことを特徴とする請求項1または2記載の超臨界水を用いた電子部品からの無機物部品材料の回収方法。

【請求項4】 超臨界水による樹脂成分の酸化分解を、樹脂成分の酸化剤を添加して行うことを特徴とする請求項1、2または3記載の超臨界水を用いた電子部品からの無機物部品材料の回収方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本願発明は、所定形の部品材料が組み込まれて一定の機能を発揮する電子部品からの無機物部品材料の回収方法に関するものである。特に、超臨界水の性質を利用して、電子部品の樹脂成分を酸化分解させて除去し、電子部品の基材などとして含有する珪素化合物や金属等の無機物については、組成の変化、強度や機能の低下等を伴わずに、無機物部品材料の部品性能を保ったまま回収することを目的とした方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術とその課題】近年、IT革命により電子部品は小型化、それに伴い部品材料はより小さく、より付加価値の高いものが増えてきている。しかし、小型化が進むにつれ製造工程が複雑になり製品の歩留率が悪く、ここで生じた機能不良の電子部品は廃棄物として、処分されているのが現状であった。

【0003】これら不良品から有価無機物部品材料を回収する方法として、酸、アルカリや有機溶媒（例えはケトン類）で処理する方法がある。前者の処理法は、酸、アルカリによる部品材料の腐食や溶解が生じ、回収目的の物質の機能を毀損していた。また、後者の処理法はケトン類（特にアセトン等）を用いるため、有機物は一度分解または溶解するが薄い膜となり無機物部品材料の表面を覆ってしまい、回収目的の無機物部品材料の性能を損ねる結果となっていた。

【0004】このように、従来の処理方法では、電子部品の部品材料を原形のまま、すなわち、規格形状を損なうことなく、かつ物質の機能を毀損することなく回収す

ることには問題があった。

【0005】例えば、電子部品の例として水晶振動子について説明すると、水晶振動子は、水晶板とセラミック質のパッケージと、両者を接着する導電性の接着剤から構成されており、セラミックのパッケージ表面にはW、Ni-Cu、Au等が順に積層された端子が存在している。

【0006】ところで、無機物質に影響を及ぼさず有機物質を分解する方法として、超臨界反応を用いた方法が近年着目されている。超臨界反応とは臨界温度・圧力以上で生じる反応である。例えば、水を反応媒体とした超臨界水は、無機物質はそのままに有機物質を水と二酸化炭素までに分解するものであるが、珪素化合物や金属等に代表される無機物質の組成の変化、強度や機能に影響を与えることがある。実用化に至っていないのが現状である。

【0007】

【目的】上記課題に鑑み、本願発明は、無機物および樹脂成分から構成した電子部品において、超臨界水による酸化分解、および必要に応じて添加される膨潤剤を組み合わせることで樹脂成分を除去するとともに、電子部品の基材などとして含有する無機物については、組成の変化、強度や機能の低下等を伴わずに原形のまま回収して再使用することを目的とした。新規な、超臨界水を用いた電子部品からの無機物部品材料の回収方法を提供するものである。

【0008】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本願発明にかかる超臨界水を用いた電子部品からの無機物部品材料の回収方法は以下のように構成している。

【0009】すなわち、請求項1では、所定形の部品材料が組み込まれて一定の機能を発揮する電子部品を、超臨界水により樹脂成分を酸化分解して除去するとともに、無機物については非酸化状態で回収することを特徴とする。

【0010】請求項2では、所定形の部品材料が組み込まれて一定の機能を発揮する電子部品において、膨潤剤の添加による膨潤および超臨界水による酸化分解を行うことで樹脂成分を除去し、かつ、無機物については非酸化状態で回収することを特徴とする。

【0011】請求項3では、請求項1または2における樹脂成分の酸化分解を、超臨界水の比誘電率 ϵ_w を4.5~ ϵ_w 7.0、イオン積 K_w を1.4~ $L_0 g K_w$ 1.7として行うことを特徴とする。

【0012】請求項4では、請求項1、2または3における樹脂成分の超臨界水による酸化分解を、樹脂成分の酸化剤を添加して行うことを特徴とする。

【0013】超臨界水は、臨界温度（374.1°C）及び臨界圧力（22.1 MPa）を超えた領域の非凝縮性

の高密度水である。溶媒としての超臨界水は、温度或いは圧力を操作変数として、单一の溶媒でありながら複数の溶媒機能を有することが知られている。

【0014】超臨界水の特性であるイオン積 (K_w) については、常温常圧の水のイオン積が $K_w = 1 \times 10^{-14}$ であるのに対して、温度および圧力の上昇とともに増大する。例えば、400°Cにおけるイオン積は、臨界圧以下での10 MPaでは $K_w = 1 \times 10^{-14} \sim -28.5$ であるのに対し、臨界圧以上の35 MPaでは $K_w = 1 \times 10^{-14} \sim -13.1$ と大幅に増大する (- $\log K_w$ は、28.5から13.1へと減少する)。すなわち、超臨界水には酸触媒やアルカリ触媒としての機能があることがわかる。

【0015】超臨界水のもうひとつの特性である誘電率については、常温常圧の水の誘電率が78程度であるのに対して、超臨界水では誘電率を温度と圧力の操作により2～30程度の範囲で連続的且つ大幅に制御可能であることが挙げられる。例えば、400°Cにおける誘電率は、25 MPaでは2.4であるが、50 MPaでは1.2となる。超臨界水の誘電率は、ヘキサン（誘電率は1.8程度）などの非極性溶媒から、メタノール（誘電率は32.6）のような極性有機溶媒までの広範囲に相当する。従って、超臨界水を用いると、常温常圧の水には溶解しない有機物質を溶解することが可能となる。

【0016】上述したような超臨界水の性質を、被回収無機物の組成に応じて利用することにより、無機物および樹脂成分から構成した電子部品の樹脂成分については酸化分解して除去することが可能となり、さらに、電子部品の基材などとして含有する珪素化合物や金属等の無機物については、組成の変化、強度や機能の低下等を伴わずに原形のまま回収して再使用することが可能となる。

【0017】本願発明を実施するための温度および圧力は、水の臨界温度および臨界圧力の近傍やそれ以上の範囲であれば特に限定はされない。しかしながら、超臨界水の比誘電率 ϵ_w が $4 \leq \epsilon_w \leq 7$ 、イオン積 K_w が $1.4 \leq -\log K_w \leq 1.7$ であれば速やかに樹脂成分の分解反応を進行させ、かつ、無機物については、組成の変化、強度や機能の低下等を伴わずに回収することが可能となる。本願発明の超臨界水を用いた電子部品からの無機物部品材料の回収方法の環境としては、反応装置や操作の問題などを考慮すると、380～430°C、24～35 MPaで上記反応条件を実現可能であり、必ずしもこれ以上に高くする必要はない。

【0018】本願発明の実施対象となる電子部品における回収対象の無機物は、組成の変化、強度や機能の低下等を伴わずに回収できれば、形状や物質種を限定するものではない。アルミナ、酸化チタン、酸化珪素などの酸化物、珪化アルミニウムなどの珪化物、炭酸カルシウム、タルク、石英、ガラス、ケイ砂や金属などの天然物

を含む無機物や金属錯が例として挙げられる。

【0019】また、本願発明の実施対象となる電子部品における樹脂成分は、熱硬化性あるいは熱可塑性のいずれの樹脂でもよく、2種類以上の成分からなるポリマー・アロイやそれらの混合物、あるいは積層物でもよい。さらに、従来は分解が難しかったエポキシ樹脂やフェノール樹脂の硬化物も対象にすることができる。

【0020】加えて、超臨界水を用いた本願発明の実施における樹脂成分用の膨潤剤等としては、カルボン酸類、アルコール類、ケトン類、塗素、二酸化炭素等からなる群より選ばれた1種類以上を、超臨界水による反応前、反応中、反応後に添加するようにしてもよい。樹脂成分の膨潤と超臨界水による酸化反応が同時に、或いはいずれか一方が先に進行した場合であっても、これらの相加的、相乗的あるいは補完的作用のいずれかまたは組み合わせにより樹脂成分の除去に寄与するからである。上記カルボン酸類としては酢酸、乳酸等が好ましく、アルコール類ではメチルアルコール、エチルアルコール等が好ましく、酸化剤としては、過酸化水素、酸素、空気、オゾン等の酸素供給物質が好ましい。

【0021】なお、本願発明で使用する樹脂成分が、ハロゲン、硫黄やリン化合物等を含有する場合、塩基性物質である水酸化ナトリウムなどの中和剤を、添加剤として混合することにより、ハロゲン化ナトリウム、硫酸ナトリウム、リン酸ナトリウム等の塩として中和するようにしてよい。

【0022】

【発明の実施の形態】以下に本願発明にかかる超臨界水を用いた電子部品からの無機物部品材料の回収方法について詳細に説明する。図1は本実施形態の電子部品からの無機物部品材料の回収方法に用いた水晶振動子の説明図であり、図2は本実施形態の電子部品からの無機物部品材料の回収方法に用いた反応装置の説明図である。

【0023】本実施形態における電子部品としては、生産工場で発生した機能不良のMSD（表面実装）水晶振動子1（以下、「水晶振動子1」と省略。）を用いた。水晶振動子1は、水晶板1.0と金属配線付のセラミック質のパッケージ1.1からなる無機物と、水晶板1.0とパッケージ1.1を接着する導電性接着剤1.2からなる有機物から構成されている。このセラミックのパッケージ1.1表面にはW、Ni-Cu、Au等が順に積層された端子1.1aが存在している。

【0024】反応装置2内の反応管2.0（容積は6 mL）に、水晶振動子1と超純水を約3.0 g入れ（実施例によっては添加剤を加えた。）、反応管2.0の両端を針金2.1で懸垂してサンドバス2.2に浸漬して、反応装置2内の温度と圧力を制御盤2.3により制御して実験を行った。以下の実施例、比較例では、サンドバス2.2に投入した時点で反応開始とし、所定時間経過後にサンドバス2.2より反応管2.0を取り出して急冷し、超臨界水

処理後、有機物脂工程および水洗工程を経て乾燥したものに対して特性評価を行った。

【0025】

【実施例1】実施例1は、水晶振動子1を膨潤剤に浸漬させてから、臨界温度・圧力以上の水を用い超臨界反応を行った。実施条件は、温度：400°C、圧力：28、9 MPaで超臨界反応を行った。膨潤剤は、乳酸1.0mLに対し、エタノールを100mLの割合で調合し、その0.05gを超純水3gに加えた。

【0026】以上の条件で実施したところ、反応時間は10minで水晶板1.0とセラミックパッケージ1.1を接着している導電性接着剤1.2を分解することができた。それにより、有価無機物部品材料である水晶板1.0とセラミックパッケージ1.1を回収することができた。

【0027】実施例1で回収した水晶板1.0とセラミックパッケージ1.1の機能特性を測定した。表1により回収した水晶板1.0とセラミックパッケージ1.1の諸特性を測定した表であり、水晶板1.0の周波数は新品の部品材料と同特性を得ることができた。また、セラミックパッケージ1.1の端子1.1aの膜厚と絶縁抵抗値も新品の部品材料と同特性を得ることができた。

【0028】実施例1により、超臨界反応の前に電子部品を膨潤剤に浸漬させ、超臨界水反応を行うことにより短時間で無機物部品材料を回収し再使用する方法を提供することができた。

【0029】

【実施例2】実施例2は、水晶振動子1を膨潤剤に浸漬させてから、臨界温度・圧力以上の水を用い超臨界反応を行った。実施条件は、温度：380°C、圧力：24、3 MPaで超臨界反応を行った。膨潤剤の混合については実施例1と同様とした。

【0030】以上の条件で実施したところ、反応時間は30minで水晶板1.0とセラミックパッケージ1.1を接着している導電性接着剤1.2を分解することができた。それにより、有価無機物部品材料である水晶板1.0とセラミックパッケージ1.1を回収することができた。

【0031】実施例2で回収した水晶板1.0とセラミックパッケージ1.1の機能特性を測定した。表1により、水晶板1.0の周波数は新品の部品材料と同特性を得ることができた。また、セラミックパッケージ1.1の端子1.1aの膜厚と絶縁抵抗値も新品の部品材料と同特性を得ることができた。

【0032】実施例2により、超臨界反応の前に電子部品を膨潤剤に浸漬させ、超臨界水反応を行うことにより短時間で有価無機物部品材料を回収しリサイクルする方法を提供することができた。

【0033】

【実施例3】実施例3は、水晶振動子1を臨界温度・圧力以上の添加剤の入った水を用い超臨界反応を行った。実施条件は、温度：400°C、圧力：28、9 MPaで

超臨界反応を行った。膨潤剤の混合については実施例1と同様とした。

【0034】以上の条件で実施したところ、反応時間は30minで水晶板1.0とセラミックパッケージ1.1を接着している導電性接着剤1.2を分解することができた。それにより、有価無機物部品材料である水晶板1.0とセラミックパッケージ1.1を回収することができた。

【0035】実施例3で回収した水晶板1.0とセラミックパッケージ1.1の機能特性を測定した。表1により水晶板1.0の周波数は新品の部品材料と同特性を得ることができた。また、セラミックパッケージ1.1の端子1.1aの膜厚と絶縁抵抗値も新品の部品材料と同特性を得ることができた。

【0036】実施例3により、水に添加剤を少量加え超臨界反応を行うことにより短時間で有価無機物部品材料を回収しリサイクルする方法を提供することができた。

【0037】

【実施例4】実施例4は、水晶振動子1を臨界温度・圧力以上の添加剤の入った水を用い超臨界反応を行った。実施条件は、温度：380°C、圧力：24、3 MPaで超臨界反応を行った。膨潤剤の混合については実施例1と同様とした。

【0038】以上の条件で実施したところ、反応時間は60minで水晶板1.0とセラミックパッケージ1.1を接着している導電性接着剤1.2を分解することができた。それにより、有価無機物部品材料である水晶板1.0とセラミックパッケージ1.1を回収することができた。

【0039】実施例4で回収した水晶板1.0とセラミックパッケージ1.1の機能特性を測定した。表1により、水晶板1.0の周波数は新品の部品材料と同特性を得ることができた。また、セラミックパッケージ1.1の端子1.1aの膜厚と絶縁抵抗値も新品の部品材料と同特性を得ることができた。

【0040】実施例4により、水に添加剤を少量加え超臨界反応を行うことにより有価無機物部品材料を回収しリサイクルする方法を提供することができた。

【0041】

【実施例5】実施例5として、膨潤剤を用いずに水晶振動子1を臨界温度・圧力以上の水で超臨界反応を行った。比較条件は、温度：400°C、圧力：28、9 MPaで超臨界反応を行った。

【0042】以上の条件で比較したところ、反応時間は60minで水晶板1.0とセラミックパッケージ1.1を接着している導電性接着剤1.2を分解することができた。それにより、有価無機物部品材料である水晶板1.0とセラミックパッケージ1.1を回収することができた。しかし、実施例1～3で行った以上の反応時間が必要になった。

【0043】次に、実施例5で回収した水晶板1.0とセラミックパッケージ1.1の機能特性を測定した。表1に

より、水晶板10の周波数は新品の部品材料と同特性であった。また、セラミックパッケージ11の端子11aの膜厚と絶縁抵抗値も新品の部品材料と同特性であった。

【0044】

【比較例1】水晶振動子1を膨潤剤に浸漬させてから、臨界温度・圧力以下の水を用い亜臨界反応を行った。比較条件は、温度：280°C、圧力：8.2 MPaで亜臨界反応を行った。膨潤剤の混合については実施例1と同じ

様とした。

【0045】以上の条件で比較したところ、亜臨界反応を180分間行ったところ、水晶板10とセラミックパッケージ11を接着している導電性接着剤12は分解することができなかった。また、有価無機物部品材料である水晶板10は亜臨界反応の影響により、粉々に破壊されていたため評価を行うことができなかった。

【0046】

【表1】

	温度 (°C)	圧力 (MPa)	膨潤剤	時間 (min.)	水晶板		セラミックパッケージ 端子 膜厚 (μm)	絶縁 抵抗 (×10 ⁴ Ω)
					周波数 (MHz)	端子 膜厚 (μm)		
実施例1	400	28.8	あり	10	14.4	1.45	2.47	
実施例2	380	24.3	あり	30	14.4	1.43	2.35	
実施例3	400	28.8	あり	30	14.4	1.45	2.49	
実施例4	380	24.3	あり	60	14.4	1.44	2.43	
実施例5	400	28.8	なし	60	14.4	1.45	2.48	
比較例1	280	8.2	あり	180	破壊	破壊	破壊	
焼却炉	-	-	-	-	14.3~ 14.5	1.0~ 3.0	<2.0×10 ⁴	

【0047】

【発明の効果】以上の実施例からもわかるように、本願発明によれば機能不良で生じた電子部品を、必要に応じて膨潤剤や酸化剤を加えた水に浸漬させ、臨界温度・圧力以上の超臨界水を用いることで、樹脂成分の膨潤と超臨界水による酸化反応を相加的、相乘的あるいは補完的作用のいずれかまたは組み合わせにより行って樹脂成分を除去し、有価無機物部品材料についても組成の変化、強度や機能の低下等を伴わずに回収して再利用することができる。

【0048】また、本願発明の実施対象となる樹脂成分は、熱硬化性あるいは熱可塑性のいずれの樹脂でもよく、2種類以上の中からなるポリマー・アロイやそれらの混合物、あるいは積層物、さらに、従来は分解が難しかったエポキシ樹脂やフェノール樹脂の硬化物も対象にすることことができ、酸やアルカリを大量に使用しないため大掛かりな中和設備を必要とせずコスト的に有利になる

など、その産業的効果は顯著なものである。

【図面の簡単な説明】

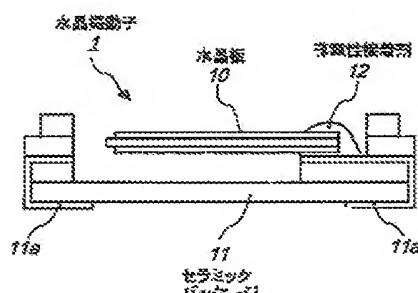
【図1】 本実施形態の電子部品からの無機物部品材料の回収方法に用いた水晶振動子の説明図である。

【図2】 本実施形態の電子部品からの無機物部品材料の回収方法に用いた反応装置の説明図である。

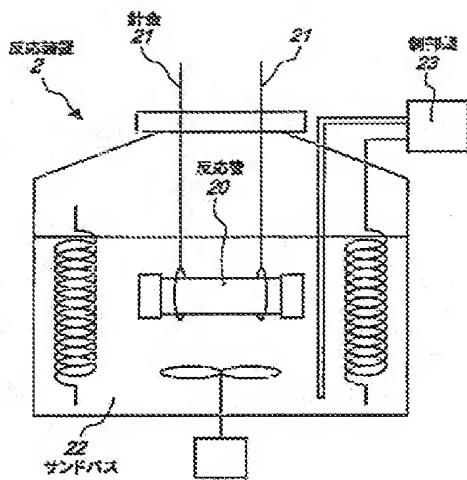
【符号の説明】

- 1 水晶振動子
- 10 水晶板
- 11 セラミックパッケージ
- 11a 端子
- 12 導電性接着剤
- 2 反応装置
- 20 反応管
- 21 針金
- 22 サンドバス
- 23 制御盤

【図1】



【図2】



フロントページの続き

(72)発明者 猪股 ▲宏▼
宮城県仙台市青葉区広瀬町5-38

Fターム(参考) 4D04 AA24 CA36 CA39 CC15 DA02
DA03 DA20

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-233847
 (43)Date of publication of application : 20.08.2002

(51)Int.Cl. B09B 3/00
 B09B 5/00

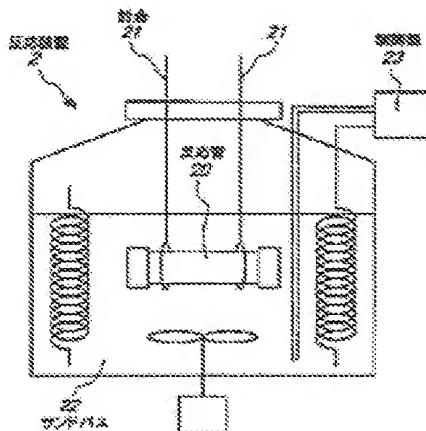
(21)Application number : 2001-030114 (71)Applicant : ASAKA RIKEN KOGYO KK
 (22)Date of filing : 06.02.2001 (72)Inventor : KUDO MITSUHIKO
 KIKUCHI MORIKAZU
 SHIMIZU SEI
 INOMATA HIROSHI

(54) METHOD OF RECOVERING INORGANIC MATTER PARTS MATERIAL FROM ELECTRONIC PARTS USING SUPERCRITICAL WATER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To remove resin components of electronic parts composed of inorganic matter and the resin components by combining the oxidation decomposition by supercritical water and a swelling agent and to recover the inorganic matter in the state of an original form without entailing the change of the composition and the degradation in strength and function.

SOLUTION: The electronic parts and the ultrapure water are put into a reaction tube 20 of a reaction apparatus 2 and both ends of the reaction tube are suspended by wires 21 and the reaction tube is immersed into a sand bath 22. The temperature and pressure in the reaction apparatus are controlled by a control panel 23 and the swelling by the addition of the swelling agent and the oxidation decomposition by the supercritical water are effected, by which the resin components are removed. The inorganic matter is recovered in a non-oxidizing state. The oxidation decomposition of the resin components by the supercritical water is preferably effected by setting the specific dielectric constant ϵ_r of the supercritical water at $4 \leq \epsilon_r \leq 7$ and ion product K_w at $14 \leq -\log K_w \leq 17$ and can be effected by adding an oxidizing agent thereto.



* NOTICES *

JPV and JPN are not responsible for any
discrepancies caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. *** shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

CLAIMS

[Claim(s)]

[Claim 1A] A recovery method of an inorganic substance part material from electronic parts using supercritical water characterized by collecting by a non-oxidation state about an inorganic substance while carrying out oxidative degradation of the resinous principle with supercritical water and removing in electronic parts which a part material of a predetermined shape is incorporated and exhibit a fixed function.

[Claim 2B] electronic parts which a part material of a predetermined shape is incorporated and exhibit a fixed function. A recovery method of an inorganic substance part material from electronic parts using supercritical water removing a resinous principle by performing swelling by addition of a swelling agent, and oxidative degradation by supercritical water, and collecting by a non-oxidation state about an inorganic substance.

[Claim 3A] recovery method of an inorganic substance part material from electronic parts using the supercritical water according to claim 1 or 2 performing { oxidative degradation of a resinous principle } $4 < \epsilon_{\text{episilow}} < 7$ and the ionic product K_w for specific-inductive-capacity epikton of supercritical water as $14 < -\log K_w < 17$.

[Claim 4A] recovery method of an inorganic substance part material from electronic parts using the supercritical water according to claim 1, 2, or 3 adding an oxidizer of a resinous principle and performing oxidative degradation of a resinous principle by supercritical water.

[Translation done.]

* NOTICES *

* I.P.O. and WIPO are not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
 2. *** shows the word which can not be translated.
 3. In the drawings, any words are not translated.

DETAILED DESCRIPTION

[Detailed Description of the invention]

[0001]

[Field of the invention] The invention in this application uses the character of supercritical water especially about the recovery method of the inorganic substance part material from the electronic parts which the part material of a predetermined shape is incorporated and exhibit fixed function. Oxidative degradation of the resinous principle of electronic parts is carried out, and it removes, and is related with the method aiming at collecting with the part performance of an inorganic substance part material maintained without being accompanied by change of a presentation, intensity, the fall of a function, etc., about inorganic substances contained as a substrate of electronic parts, etc., such as a silicon compound and metal.

[0002]

Description of the Prior Art In recent years, in connection with a miniaturization and it, what electronic parts' 2 has added value smaller a part material and higher is increasing by IT revolution. However, the manufacturing process became complicated, the yield rate of the product was bad and the actual condition was that the electronic parts of malfunctioning produced here are disposed of as waste as the miniaturization progressed.

[0003] Methods of collecting valuable inorganic substance part materials from these inferior goods includes the method of processing with acid, alkali, or an organic solvent (for example, ketone). The corrosion and the dissolution of a part material by acid and alkali arose, and the former approach had damaged the function of the substance for the purpose of recovery. In order that the latter approach might use ketone (especially acetone etc.), although it decomposed or dissolved once, the organic matter became a thin film, covered the surface of the inorganic substance part material, and had resulted in spoiling the performance of the inorganic substance part material for the purpose of recovery.

[0004] Thus, in the conventional disposal method, there was a problem in collecting without [without it spoils the part material of electronic parts with the original form (i.e., standard shape), and] damaging the function of a substance.

[0005] For example, if a crystal oscillator is explained as an example of electronic parts, the crystal oscillator comprises conductive adhesives on which a quartz piece and the quality of ceramics pack and both are pasted up. This terminal in which W, nickel-Co, Au, etc. were laminated in order exists in the package surfaces of ceramics.

[0006] By the way, its attention is paid to the method using the supercritical reaction as a method which does not affect mineral matter but disassembles an organic substance in recent years. A supercritical reaction is a reaction produces above critical temperature and a pressure. For example, the actual condition is that the supercritical water which used water as the reaction medium may affect change, and the intensity and the function of mineral matter of a presentation which are represented by a silicon compound, metal, etc., and has not resulted in utilization although mineral matter disassembles an organic substance even into water and carbon dioxide as it is.

[0007] Objects of the invention While removing a resinous principle, because the invention in this application combines the oxidative degradation by supercritical water, and the swelling agent added if needed in

view of an aforementioned problem in the electronic parts constituted from an inorganic substance and a resinous principle. About the inorganic substance contained as a substrate of electronic parts, etc., the recovery method of the inorganic substance part material from the electronic parts using new supercritical water aiming at collecting with the original form and carrying out a reuse, without being accompanied by change of a presentation, intensity, the fall of a function, etc., is provided.

[0008] Means for Solving the Problem In order to attain the above-mentioned purpose, a recovery method of an inorganic substance part material from electronic parts using supercritical water concerning the invention in this application is constituted as follows.

[0009] That is, at Claim 1, while carrying out oxidative degradation of the resinous principle with supercritical water and removing electronic parts which a part material of a predetermined shape is incorporated and exhibit a fixed function, about an inorganic substance, it reflects by a non-oxidation state.

[0010] In Claim 2, in electronic parts which a part material of a predetermined shape is incorporated and exhibit a fixed function, a resinous principle is removed by performing swelling by addition of a swelling agent, and oxidative degradation by supercritical water, and a non-oxidation state recovers an inorganic substance.

[0011] In Claim 3, $4 < \epsilon_{\text{episilow}} \leq 7$ and the ionic product K_w are performed [oxidative degradation of Claim 1 or a resinous principle in 2] for specific-inductive-capacity epsilon of supercritical water as $14 < -\log K_w \leq 17$.

[0012] In Claim 4, an oxidizer of a resinous principle is added and Claim 1 and oxidative degradation by supercritical water of a resinous principle in 2 or 3 are performed.

[0013] Supercritical water is non-condensable high-density water of a field beyond critical temperature (374.1°C) and the critical pressure (22.1 MPa). Supercritical water as a solvent, makes temperature or a pressure an instrumental variable, and though it is a single solvent, having two or more solvent functions is known.

[0014] About an ionic product (K_w) which is the characteristic of supercritical water, it increases with a rise of temperature and a pressure to an ionic product of water of ordinary temperature ordinary pressure being $K_w = f_1(T) * f_2(P)$. For example, an ionic product at 400°C increases substantially with $K_w = 1 \times 10^{10} (-13.1)$ by 35 MPa more than the critical pressure to being $K_w = 1 \times 10^{4.8} (-28.5)$ in 10 MPa below the critical pressure ($-\log K_w$ decreases from 28.5 to 13.1). That is, it turns out that supercritical water has a function as an acid catalyst or an alkali catalyst.

[0015] About a dielectric constant which is another characteristic of supercritical water, a thing controllable continuously and substantially is mentioned by operation of temperature and a pressure in the about two to 30 range in a dielectric constant with supercritical water to a dielectric constant of water of ordinary temperature ordinary pressure being about 78. For example, although a dielectric constant at 400°C is 2.4 in 25 MPa , it is set to 12 by 80 MPa . A dielectric constant of supercritical water is equivalent to a large area from nonpolar solvents, such as hexane (a dielectric constant is about 1.8), to a polar organic solvent, like methanol (a dielectric constant is 32.6). Therefore, if supercritical water is used, it will become possible to dissolve an insoluble organic substance in water of ordinary temperature ordinary pressure.

[0016] By using character of supercritical water which was mentioned above according to a presentation of an inorganic substance to be collected, it becomes possible to carry out oxidative degradation and to remove about a resinous principle of electronic parts constituted from an inorganic substance and a resinous principle. About inorganic substances contained as a substrate of electronic parts, etc., such as a silicon compound and metal, it becomes possible to collect with the original form and to carry out a reuse, without being accompanied by change of a presentation, intensity, a fall of a function, etc.

[0017] If a ranges near critical temperature of water and the critical pressure of temperature and a pressure for carrying out the invention in this application is beyond it, limitation in particular will not be carried out. However, it becomes possible to collect without advancing a decomposition reaction of a resinous principle promptly, if specific-inductive-capacity epsilon of supercritical water is $4 < \epsilon_{\text{episilow}} \leq 7$ and the ionic product K_w is $14 < -\log K_w \leq 17$, and being accompanied by change of a presentation, intensity, a fall of a function, etc. about an inorganic substance. As an environment of a recovery method of an inorganic substance part material from electronic parts using supercritical

water of the invention in this application, if a reaction apparatus, a problem of operation, etc. are taken into consideration, the above-mentioned reaction condition can be realized and it is not necessary to necessarily make it higher than this by 380 ~ 430 ** and 24 ~ 35MPa.

[0318] An inorganic substance for 1 in electronic parts which are the operation targets of the invention in this application 1, recovery, a fall of a function, etc. An inorganic substance and a metallic foil including a natural product of nitrides, such as oxides, such as alumina, titanium oxide, and oxidized silicon, and aluminum nitride, calcium carbonate, talc, quartz, glass, silica, metal, etc. are mentioned as an example.

[0319] When thermosetting or thermoplastic resin 1 may be sufficient as a resinous principle in electronic parts which are the operation targets of the invention in this application, and polymer elements which consist of two or more kinds of ingredients, those mixtures, or laminated material may be sufficient as 1. A hardened material of an epoxy resin for which decomposition was difficult, or phenol resin can also be conventionally made into an object.

[0320] In addition, it may be made to add one or more kinds chosen from a group which consists of carboxylic acid, alcohols, ketone, nitrogen, carbon dioxide, etc. as a swelling agent for resinous principles in operation of the invention in this application; using supercritical water, etc. before a reaction by supercritical water, during a reaction, and after a reaction. Even if it is a case where simultaneous oxidation reaction by swelling and supercritical water of a resinous principle 1 or either advances previously, it is because it contributes to removal of a resinous principle with either or combination of these additive, synergistic, or complementary operations. As the above-mentioned carboxylic acid, acetic acid, lactic acid, etc. are preferred, in alcohols, methyl alcohol, ethyl alcohol, etc. are preferred and oxygen supply substances, such as hydrogen peroxide, oxygen, air, and ozone, are preferred as an oxidizer.

[0321] By mixing neutralizers, such as sodium hydroxide which is an alkali, as an additive agent, when a resinous principle used by the invention in this application contains halogen, sulfur, phosphorous compounds, etc. It may be made to neutralize as salts, such as sodium halide, sodium sulfate, and sodium phosphate.

[Embodiment of the invention] The recovery method of the inorganic substance part material from the electronic parts using the supercritical water concerning the invention in this application is explained in detail below. Drawing 1 is an explanatory view of the crystal oscillator used for the recovery method of the inorganic substance part material from the electronic parts of this embodiment, and drawing 2 is an explanatory view of the reaction apparatus used for the recovery method of the inorganic substance part material from the electronic parts of this embodiment.

[0323] As electronic parts in this embodiment, the MSD (surface mount) crystal oscillator 1 fit abbreviations to "the crystal oscillator 1" hereafter,) of malfunctioning by which it was generated at the production plant was used. The crystal oscillator 1 comprises an inorganic substance which consists of the package 11 of the quality of electroconductive glue 12 or which the quartz plate 10 and an organic matter which consists of the electroconductive glue 12 or which the quartz plate 10 and the package 11 are pasted up. The terminal 11a in which W, nickel-Ce, Au, etc. were laminated in order exists in the package 11 surface of these ceramics.

[0324] It experimented on the coil 20 (capacity is 6nH) in the reaction apparatus 2 by putting in the crystal oscillator 1 and about 3.0g of ultrapure water (the additive agent was added depending on working example), hanging with its wire 21, immersing the both ends of the coil 20 in the sand bath 22, and controlling the temperature and the pressure in the reaction apparatus 2 by the operator control panel 23. In the following working example and a comparative example, when supplied to the sand bath 22, it was considered as the reaction start, and the coil 20 was taken out and quenched from the sand bath 22 after specified time elapse, and characterization was performed after supercritical water treatment to the thing dry through the organic matter degreasng process and the washing process.

[0325] [Work example 1] Working example 1 performed the supercritical reaction using the water more than critical temperature and a pressure, after making the crystal oscillator 1 immersed in a swelling agent. The operation condition performed the supercritical reaction by temperature 400 ** and

pressure 28.9MPa. To lecric acid 10ml, the swelling agent prepared ethanol at a rate of 100ml, and added the 0.05 g to the ultrapure water 3g.

[0326] When carried out on condition of above, the reaction time was able to disassemble the electroconductive glue 12 on which the quartz plate 10 and the ceramic packages 11 are pasted up by 1min. Thereby, the quartz plates 10 and the ceramic packages 11 which are valuable inorganic substance part materials were able to be collected.

[0327] The functional characteristic of the quartz plate 10 collected in working example 1 and the ceramic package 11 was measured. Table 1 is the collected quartz plate 10 and a table which measured the various characteristics of the ceramic package 11, and the frequency of the quartz plate 10 was able to obtain a new part material and the characteristic. The thickness and the insulation resistance value of the terminal 11a of the ceramic package 11 were also able to obtain a new part material and the characteristic.

[0328] According to working example 1, the swelling agent was able to be made to have been able to immerse electronic parts before a supercritical reaction, and the method of collecting and carrying out the reuse of the inorganic substance part material for a short time was able to be provided by performing a supercritical water reaction.

[0329]

Working example 2 Working example 2 performed the supercritical reaction using the water more than critical temperature and a pressure, after making the crystal oscillator 1 immersed in a swelling agent. The operation condition performed the supercritical reaction by temperature 380 ** and pressure 24.3MPa. About mixing of the swelling agent, it was presupposed that it is the same as that of working example 1.

[0330] When carried out on condition of above, the reaction time was able to disassemble the electroconductive glue 12 on which the quartz plate 10 and the ceramic packages 11 are pasted up by 30min. Thereby, the quartz plates 10 and the ceramic packages 11 which are valuable inorganic substance part materials were able to be collected.

[0331] The functional characteristic of the quartz plate 10 collected in working example 2 and the ceramic package 11 was measured. By Table 1, the frequency of the quartz plate 10 was able to obtain a new part material and the characteristic. The thickness and the insulation resistance value of the terminal 11a of the ceramic package 11 were also able to obtain a new part material and the characteristic.

[0332] According to working example 2, the swelling agent was able to be made to have been able to obtain a new part material and the characteristic. The thickness and the insulation resistance value of the terminal 11a of the ceramic package 11 were able to be provided by performing a supercritical water reaction.

[0333]

Working example 3 Working example 3 performed the supercritical reaction using the water into which the additive agent more than critical temperature and a pressure went the crystal oscillator 1. The operation condition performed the supercritical reaction by temperature 400 ** and pressure 28.9MPa. About mixing of the swelling agent, it was presupposed that it is the same as that of working example 1.

[0334] When carried out on condition of above, the reaction time was able to disassemble the electroconductive glue 12 on which the quartz plate 10 and the ceramic packages 11 are pasted up by 30min. Thereby, the quartz plates 10 and the ceramic packages 11 which are valuable inorganic substance part materials were able to be collected.

[0335] The functional characteristic of the quartz plate 10 collected in working example 3 and the ceramic package 11 was measured. The frequency of the quartz plate 10 was able to obtain a new part material and the characteristic by Table 1. The thickness and the insulation resistance value of the terminal 11a of the ceramic package 11 were also able to obtain a new part material and the characteristic.

[0336] The method of collecting and recycling a valuable inorganic substance part material for a short time was able to be provided by adding a small amount of additive agents to water, and performing a supercritical reaction according to working example 3.

[0337]

Working example 4 Working example 4 performed the supercritical reaction using the water into which

the additive agent more than critical temperature and a pressure went the crystal oscillator 1. The operation condition performed the supercritical reaction by temperature 380 °K and pressure 24.3 MPa. About mixing of the swelling agent, it was presupposed that it is the same as that of working example 1.

[0038] When carried out on condition of above, the reaction time was able to disassemble the electroconductive glass 12 on which the quartz plate 10 and the ceramic packages 11 are pasted up by 60min. Thereby, the quartz plates 10 and the ceramic packages 11 which are valuable inorganic substance part materials were able to be collected.

[0039] The functional characteristic of the quartz plate 10 collected in working example 4 and the ceramic package 11 was measured. By Table 1, the frequency of the quartz plate 10 was able to obtain a new part material and the characteristic. The thickness and the insulation resistance value of the terminal 11a of the ceramic package 11 were also able to obtain a new part material and the characteristic.

[0040] The method of collecting and recycling a valuable inorganic substance part material was able to be provided by adding a small amount of additive agents to water, and performing a supercritical reaction according to working example 4.

[0041] [Work example 5] As working example 5, the water more than critical temperature and a pressure performed the supercritical reaction for the crystal oscillator 1, without using a swelling agent.

Relation condition performed the supercritical reaction by temperature 400 °K and pressure 28.9 MPa. [0042] When compared on condition of above, the reaction time was able to disassemble the electroconductive glass 12 on which the quartz plate 10 and the ceramic package 11 are pasted up by 60min. Thereby, the quartz plates 10 and the ceramic packages 11 which are valuable inorganic substance part materials were able to be collected. However, the reaction time of the more than performed in working example 1-3 is needed.

[0043] Next, the functional characteristics of the quartz plate 10 collected in working example 5 and the ceramic package 11 was measured. By Table 1, the frequency of the quartz plate 10 was a new part material and the characteristic. The thickness and the insulation resistance value of the terminal 11a of the ceramic package 11 were also a new part material and the characteristic.

[0044] [Comparative example 1] After making the crystal oscillator 1 immersed in a swelling agent, the subcritical reaction was performed using the water below critical temperature and a pressure.

Relation condition performed the subcritical reaction by temperature 280 °K and pressure 8.2 MPa.

About mixing of the swelling agent, it was presupposed that it is the same as that of working example 1.

[0045] When were compared on condition of above and the subcritical reaction was performed for 180 minutes, the electroconductive glass 12 on which the quartz plate 10 and the ceramic package 11 are pasted up was not able to be disassembled. Since the influence of a subcritical reaction was destroyed in pieces, the quartz plate 10 which is a valuable inorganic substance part material was not able to be estimated by it.

[0046]

[Table 1]

	温度 (°C)	压力 (MPa)	溶液 (mol/L)	水温 (°K)	频率 (Hz)	厚度 (μm)	绝缘 电阻 (MΩ)
实验例1	400	28.9	2.0	10	14.4	1.43	2.47
实验例2	380	24.3	2.0	20	14.4	1.43	2.35
实验例3	400	28.9	2.0	30	14.4	1.45	2.46
实验例4	380	24.3	2.0	60	14.4	1.44	2.46
实验例5	400	28.9	2.0	60	14.4	1.45	2.46
比较例1	280	8.2	2.0	120	14.4	1.45	2.46
基准值	-	-	-	-	14.5	1.0 ^a	2.0 × 10 ⁴

[Translation done.]

[Effect of the invention] By making the water which added the swelling agent and the oxidizer if needed immerse the electronic parts which were broached in malfunctioning according to the invention in this application, and using the supercritical water more than critical temperatures and a pressure so that the above working example may also show. Either or combination of an additive, synergistic, or cumphantropic operation can perform the oxidation reaction by swelling and supercritical water of a resinous principle, a resinous principle can be removed, and it can collect and reuse about a valuable inorganic substance part material, without being accompanied by change of a presentation, intensity, the fall of a function, etc.

[0048] The resinous principle which is the operation target of the invention in this application, The polymer alloys which which thermosetting or thermoplastic resin may be sufficient ss, and consist of two or more kinds of ingredients, and those mixtures. Or the industrial effects, such as not needing large-scale neutralization equipment, but becoming advantageous in cost, in order to be also able to make into an object, further laminated material and the hardened material of the epoxy resin for which decomposition was conventionally difficult, or phenol resin and to use neither acid nor alkali in large quantities, are remarkable.

* NOTICES *

IPU and IWI are not responsible for any damages caused by the use of this translation.

- 1.This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
- 2.*** shows the word which can not be translated.
- 3.In the drawings, any words are not translated.

DESCRIPTION OF DRAWINGS

[Brief Description of the Drawings]

Drawing 1] is an explanatory view of the crystal oscillator used for the recovery method of the inorganic substance part material from the electronic parts of this embodiment.
Drawing 2] is an explanatory view of the reaction apparatus used for the recovery method of the inorganic substance part material from the electronic parts of this embodiment.

[Description of Members]

- 1 Crystal oscillator
- 10 Quartz plate
- 11 Ceramic package
- 11a Terminal
- 12 Electroconductive glue
- 2 Reaction apparatus
- 20 Coil
- 21 Wire
- 22 Sand bath
- 23 Operator control panel

[Translation done.]

